

SPring-8/SACLA における感染予防対策について

2020年6月16日
JASRI 利用推進部

1. 感染リスクの軽減

1) スタッフのマスク着用

スタッフはマスクを着用して対応しています。

2) アルコール消毒液の設置

蓄積リング棟実験ホールの各大扉の出入口をはじめ、来所者が利用される各所にアルコール消毒液を配置しています。

3) 飛沫感染防止シートの設置

ユーザー受付、及び実験ステーションに飛沫感染防止用のビニールシート、またはアクリルボードを必要に応じて設置しています。

4) サーモグラフィの設置

ユーザー受付、及び研究交流施設フロントデスクに、来所者の体温を観察するためのサーモグラフィを設置しています。

5) スタッフの基本的感染防止対策の徹底

検温などの体調管理を徹底するとともに、頻繁に手洗い・うがい・手指の消毒を行っています。

2. 3密（密集・密接・密閉）の回避

1) 密集の回避

密集を避けるため、スタッフによる利用実験への支援人数を削減するとともに、支援時間を短縮しています。

2) 密接の回避

密接を避けるため、スタッフが対応する際に十分な距離を確保しています。

3) 密閉の回避

建屋内は、換気システムにより十分な換気を行っています。

3. 清掃・除菌の徹底

不特定多数の人が触れる部分（ドアノブ等）の定期的な清掃・除菌作業を行っています。